

2025年2月27日

各 位

会 社 名 株式会社クエスト  
代 表 者 名 代表取締役 会長兼社長執行役員 清澤 一郎  
(コード番号:2332 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 取締役 上席執行役員 小泉 裕  
(電話番号:050-3785-3965)

### 第三者割当てによる自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当てによる自己株式の処分(以下、「本自己株式処分」といいます。)を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 処分の概要

(1)処分期日	2025年8月14日
(2)処分する株式の種類及び数	当社普通株式 39,600株(注)
(3)処分価額	1株につき1,324円
(4)処分総額	52,430,400円(注)
(5)処分方法	第三者割当ての方法による
(6)処分予定先	クエスト従業員持株会(以下、「本持株会」といいます。)
(7)その他	本自己株式処分については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。

(注)「処分する株式の数」及び「処分総額」は、最大値であり、実際に処分する株式の数及び処分総額は、「従業員持株会向けインセンティブ制度(特別奨励金スキーム)」(以下、「本スキーム」といいます。)に同意する本持株会の会員資格のある当社の従業員で、2025年3月31日時点で当社に在籍している者(以下、「対象従業員」といいます。)の数に応じたものとなります。「処分する株式の数」及び「処分総額」につきましては、確定次第速やかにお知らせする予定です。

#### 2. 処分の目的及び理由

当社は、本日付け「従業員持株会向けインセンティブ制度(特別奨励金スキーム)の導入について」においてお知らせいたしましたとおり、本日開催の当社取締役会において、対象従業員に対し、当社が発行する普通株式(以下、「当社株式」といいます。)を所有させることにより財産形成の一助とすること及び経営への参画意識の向上を図ることを目的として、当社株式の割当てのための特別奨励金(以下、「本特別奨励金」といいます。)を支給し、本特別奨励金の拠出をもって本持株会に当社株式を割り当てる本スキームの導入を決議いたしました。本スキームに基づき、本日開催の当社取締役会において、現在当社が保有する自己株式128,018株(2024年12月31日現在)のうち39,600株(52,430,400円相当)を本持株会へ処分することを決議しました。

本スキームは、対象従業員に対し本特別奨励金を支給し、本特別奨励金の拠出をもって本持株会に当社株式を割り当てるものです。処分株式数につきましては、1.処分の概要の(注)に記載のとおり、最大

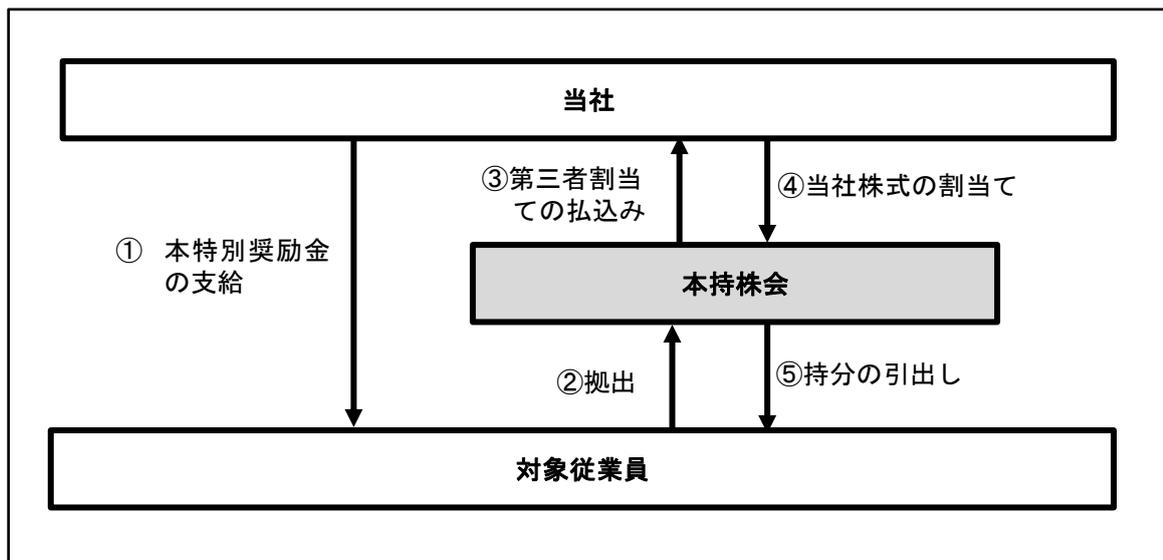
39,600株を本持株会へ処分する予定です。

なお、希薄化の規模は、2024年9月30日現在の発行済株式総数5,487,768株に対する割合は0.72%、2024年9月30日現在の総議決権個数53,181個に対する割合は0.74%(いずれも小数点以下第3位を四捨五入する。)となります。

### 3. 本スキームの概要

本スキームにおいては、当社から本持株会に加入する対象従業員に対し、本特別奨励金を支給し、対象従業員は本特別奨励金を本持株会に対して拠出することとなります。本持株会は、対象従業員から拠出された本特別奨励金を取り纏め、当社に対して払込みをすることにより、本持株会は当社株式の処分を受けることとなります。

本スキームの仕組みは以下のとおりです。



### 4. 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本自己株式処分における処分価額につきましては、恣意性を排除した価格とするため、当社取締役会決議日の直前営業日(2025年2月26日)の東京証券取引所における当社株式の終値である1,324円としております。これは、当社取締役会決議日直前の市場株価であり、合理的と考えております。

なお、この価額は、当社株式の東京証券取引所における当社取締役会決議日の直前営業日までの1か月間(2025年1月27日から2025年2月26日まで)の終値単純平均値である1,328円(円未満切捨て。終値単純平均値において、以下同じ。)からの乖離率は-0.32%(小数点以下第3位を四捨五入。乖離率の計算において、以下同じ。)、同直前営業日までの3か月間(2024年11月27日から2025年2月26日まで)の終値単純平均値である1,320円からの乖離率は0.24%、及び同直前営業日までの6か月間(2024年8月27日から2025年2月26日まで)の終値単純平均値である1,305円からの乖離率は1.43%となっており、特に有利な価額には該当しないものと判断いたしました。

上記処分価格について、取締役会に出席した監査等委員である取締役(3名、うち社外取締役3名)全員は、本自己株処分が本スキームの導入を目的としていること及び払込金額が本自己株処分に係る当社取締役会決議日の直前営業日の東京証券取引所における当社株式の終値であることに鑑み、処分先である本持株会に特に有利な払込金額に該当しないと当社が判断した過程は合理的であり、かかる判断については適正である旨の意見を表明しています。

### 4. 企業行動規範上の手続に関する事項

本自己株式処分は、①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものでないことから、東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立した第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続は要しません。

以上